

【問い合わせ先】

企画課政策推進係

電話 0276-47-5103

担当 真尾

報道機関各位

ダノンジャパン 城沼総合運動場の施設命名権を取得

2025年1月1日より「ダノンスポーツパーク」に決定

館林市（市長：多田善洋）とダノンジャパン株式会社（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：ロドリゴ・リマ、以下ダノンジャパン）は、このたび、城沼総合運動場の施設命名権（ネーミングライツ）における契約合意をいたしましたのでお知らせいたします。契約期間は2025年1月1日～2029年12月31日の5年間で、施設愛称は「ダノンスポーツパーク」に決定いたしました。

2020年1月より、ダノンジャパンは城沼総合体育館のネーミングライツを取得し、同体育館は「ダノン城沼アリーナ」として地域住民に親しまれております。そのような中、「ダノン城沼アリーナ」だけでなく、城沼総合運動場全体にネーミングライツの範囲を拡大するものでございます。

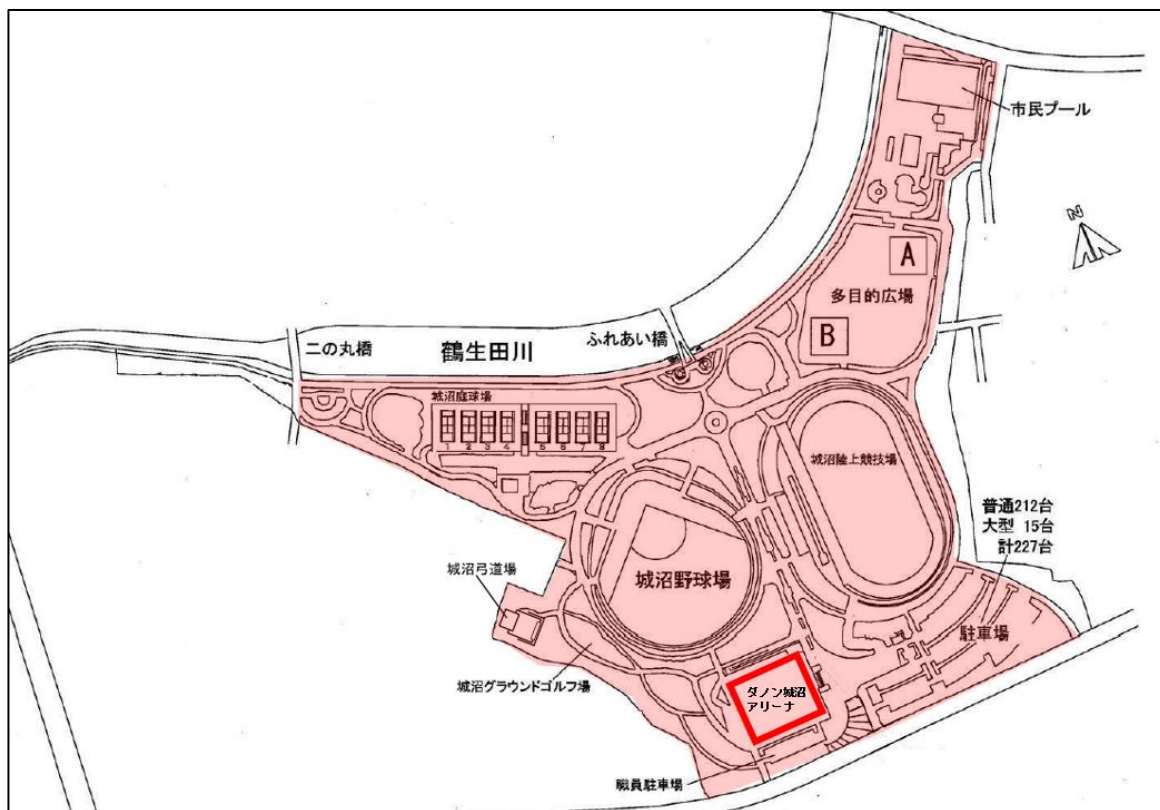
ダノンジャパンは、「世界中のより多くの人々に、食を通じて健康をお届けする」というミッションのもと、日本の消費者の皆様のニーズにあった健康的でおいしい製品の開発に取り組むとともに、人々の健康と地球の健康は相互につながっているという考えを反映したビジョン「One Planet. One Health」を掲げています。同社は2002年に館林市下早川田町に工場を設立し、国内で販売されているダノンのすべてのヨーグルトを生産しています。そして設立以来、館林市で多くの社会活動を行ってきました。ダノンジャパンの代表取締役社長 ロドリゴ・リマ氏は本件について以下のようにコメントしています。

「今回のネーミングライツの範囲拡大により、ダノン城沼アリーナ（城沼総合体育館）のみならず、館林市の皆様が健康を育む場所である城沼総合運動場の維持・発展ならびに施設を基点にした取り組みをサポートしてまいります。ネーミングライツを拡大することで、これまで以上に館林市の皆様の健康づくりに貢献できれば幸いです」

【概要】

対象施設	城沼総合運動場（群馬県館林市つつじ町14-1）
愛称	ダノンスポーツパーク
契約者	ダノンジャパン株式会社
契約期間	2025年1月1日～2029年12月31日
契約金額	年額300万円（消費税、地方消費税別）
選定理由	選定会議を開催し、契約金額や愛称等の応募理由が適当と認められたため
備考	・ 城沼総合体育館の愛称「ダノン城沼アリーナ」は継続となります ・ 同運動場内のその他の施設に愛称を付すものではありません

【ダノンスポーツパーク（城沼総合運動場）の全体図】



【サインのイメージ図】



■ダノンジャパンについて <http://www.danone.co.jp>

フランスに本拠を置くダノンは、健康に焦点を当て、急成長を遂げている「チルド乳製品と植物由来の製品」「ウォーター」「専門栄養食品」の3つのカテゴリーにおいてグローバルに事業を展開している、食品・飲料業界のリーディングカンパニーです。55 カ国以上において 9 万 6 千人以上の従業員を擁し、120 を超える市場で製品を販売しています。「世界中のより多くの人々に、食を通じて健康をお届けする」というミッションのもと、より健康的で持続可能な飲食習慣を促し、栄養面、社会面、環境面で測定可能なインパクトを達成することを目指しています。

ダノンの日本法人であるダノンジャパン株式会社は、チルド乳製品の「ダノン Bio」「ダノン オイコス」「ダノンヨーグルト」「ベビーダノン」「プチダノン」、そして植物性食品（オーツミルク）の「アルプロ」をご提供しています。また、ダノンジャパンは、日本の大手消費財メーカーおよび食品業界で初となる B Corp 認証を 2020 年 5 月に取得しました。B Corp は、米国のペンシルベニア州に拠点を置く、非営利団体 B Lab が運営する国際的な認証制度で、社会や環境に配慮した事業活動において一定の基準を満たした企業のみ与えられるものです。

ダノンジャパンの B Corp 認証取得に関する詳しい内容は
<https://www.danone.co.jp/impact/bcorp/>をご参照ください。

【報道機関からのお問い合わせ】

ダノンジャパン PR 事務局

ブルーカレント・ジャパン（フライシュマン・ヒラード・ジャパン株式会社内）

TEL：03-6204-4141 / E-mail: danone_pr@bluecurrentgroup.com